

## 平成22年度事業報告について

## 1 自主事業（情報ネットワーク事業）

事業名	実施内容		
NPO フリー トーク	<p>私たちの身近にあるテーマを題材として、ゲストスピーカーをお招きし、お話を伺った後、参加者とのフリートークを行いながら、今後のあり方等についてNPO、一般市民、行政、企業等の方々が気軽に意見交換を行う「NPOフリートーク」を開催した。</p> <p>場所は、いわて子育てネットのセミナー室及び公会堂で行い、終了後はゲストスピーカーを交えて交流会を開催した。</p>		
	6月16日	<p>「岩手の野生動物と自然環境との関係」 （いわて野生動物保護ネット事務局 辻本恒徳氏） 参加者数：10名（うち交流会参加者 5名）</p>	担当： 両川いずみ
	7月21日	<p>「いしがきルネッサンス～城下町盛岡の未来と元気創造」 （株盛岡博報堂営業局長 雫石吉隆氏） （株M・H・C代表取締役 下玉利元一氏） 参加者数：18名（うち交流会参加者 9名）</p>	担当： 沼田秀彦
	8月18日	<p>「これからの官民協働のあり方～新しい公共とNPOの役割～」 （財）岩手県生活衛生営業指導センター 専務理事 尾形盛幸氏） 参加者数：11名（うち交流会参加者 6名）</p>	担当： 佐藤 新
	9月29日	<p>「いわてのトップチームと地域の可能性～釜石シー ウェーブスRFCと支えるスポーツ～」 （釜石シーウェーブスRFC事務局長 増田久士氏） 参加者数：13名（うち交流会参加者 4名）</p>	担当： 浅沼道成
	12月15日	<p>「いつまでも記憶に残る盛岡城跡公園の管理を目ざ して」 （（特活）緑の相談室事務局長 武藤喜治氏） 参加者数：14名（うち交流会参加者 13名）</p>	担当： 工藤 望
	1月19日	<p>「NPOのビジネスモデルの現状とこれから」 （（特活）遠野山・里・暮らしネットワーク マネージャー 菊池新一氏） 参加者数：21名（うち交流会参加者 16名）</p>	担当： 佐藤文彦
	2月16日	<p>「気づいていますか 岩手の宝」 （野生動物カメラマン 阿部昭三郎氏） 参加者数：30名（うち交流会参加者 13名）</p>	担当： 辻本利枝
広報活動 事業	<p>ホームページによりINF21の活動情報を発信するとともに、NPOのための情報提供を行った。（プロバイダ契約更新） <a href="http://www.iwate-npo.net">http://www.iwate-npo.net</a></p>		

## 2 行政との協働事業

事業名	実施内容
NPO協働推進事業	<p>県庁NPO文化国際課との懇談会            日時：平成22年7月31日（土）            会場：いわて子育てネット研修室            参加：増子代表理事、両川事務局長、佐藤理事、村井理事、瀬川理事、青木会員、佐藤スタッフ、工藤スタッフ</p>
いわてNPOステップアップ支援事業	<p>県内のNPOが自立的かつ継続的な市民活動を行うことができるよう、NPOの活動資金獲得のための支援を行うとともに、新たな雇用を創出するため、県から受託した「いわてNPOステップアップ支援事業」を実施した。            契約期間：平成22年4月1日～平成23年4月15日（H22年度）            平成23年4月1日～平成24年3月31日（H23年度）</p>
NPO理解促進講演会	<p>「いわてNPOフォーラム2010in盛岡」の開催            基調講演や先駆的な活動実践者によるパネルディスカッションのほか、情報共有・交換の場として交流会を開催した。（11月19日）            講師 山岡義典氏（日本NPOセンター）            パネラー 高橋敏彦氏（いわてNPO-Netサポート）            若菜千穂氏（いわて地域づくり支援センター）            小野仁志氏（レスパイトハウス・ハンズ）            田中 卓氏（やませデザイン会議）            コーディネーター 倉原宗孝氏（岩手県立大学総合政策学部）</p>
活動資金獲得セミナー	<p>助成金申請野コツや助成事業の事例紹介、分科会による人的ネットワークの形成を目的に開催した。（2月3日釜石市、2月4日北上市）            講師 田中 皓氏（助成財団センター）            高宮洋一氏（損保ジャパン記念財団）            田中恭一氏（トヨタ財団）            山形伸次氏（麒麟財団）            山影和康氏（ヒメコザクラの会）            高宮 洋一氏（損保ジャパン記念財団）            河内山 耕氏（里山資源活用会）            加藤 広樹氏（トヨタ財団）            参加者数 釜石：41名 北上：24名</p>
運営セミナー	<p>NPO法人等団体の活動基盤強化を図るため、労務・経理を中心とした内容で開催した。（1月18日盛岡市、1月28日奥州市、2月3日釜石市）            講師 岩手労働局            中野 修氏（秋山会計事務所）            参加者数 盛岡：30名 奥州：17名 釜石：13名</p>

コミュニティ構築セミナー	<p>人的ネットワークの構築や地域住民とのコミュニティ形成の仕組みづくりのノウハウを得るために開催した。  (12月1日矢巾町、12月8日一関市)  講師 倉原 宗孝氏 (岩手県立大学総合政策学部)  参加者数 矢巾：19名 一関：7名</p>
企画立案セミナー	<p>イベントや公募対策のための企画力の強化、助成金申請のための記載手法のアドバイスを目的に開催した。  (11月25日大船渡市、12月17日久慈市、2月3日釜石市)  講師 小原 右次氏 (盛岡博報堂)  参加者数 大船渡：22名 久慈市：17名 釜石：17名</p>
SB/CB実践者育成セミナー	<p>SB・CBの県内外の事例紹介や実施見学会、実施活動分野ごとの分科会の開催による意見交換と人的ネットワークの構築を目的に開催した。(12月1日矢巾町、12月8日一関市)  講師 東北経済産業局職員  参加者数 矢巾：18名 一関：7名</p>
情報受発信・広報力向上セミナー	<p>マスメディアやIT、広告代理店等のノウハウを習得するとともにネット環境を利用した広報活動の手法を学ぶため開催した。(12月17日久慈市、1月28日奥州市)  講師 小原 右次氏 (盛岡博報堂)  廣岡 昇氏 (NTT東日本)  参加者数 久慈：17名 奥州：71名</p>

<p>県民協働型 評価推進事 業</p>	<p>行政とNPOとの協働を推進するため、県が実施したNPOとの協働推進事業に対し、提案・応募し、受託した。評価の方法や結果等は次のとおり。</p> <p>評価テーマ「生涯スポーツの振興を目指して」 契約期間：平成22年5月10日～平成22年9月30日</p> <p>(1) 評価の対象 生涯にわたる運動・スポーツの振興が健康の保持・増進にも重要な要素であるという視点から現状の施策を評価、検証した。</p>
	<p>(2) 評価の仕組み ○アンケート調査（ヒアリング含む）実施し、事業の実情、課題等を把握。 ○ワークショップを開催し、現状における課題や今後の取り組み方策等について検討。</p> <p>(3) 提言 上記の調査・検討を踏まえて、6項目の提言を行った。</p> <p>① 生涯スポーツ関係の調査・統計等の各種調査結果を県民に公表していく。 ② 県として総合型地域スポーツクラブのあるべき姿を示すことが、継続的な育成に資することになるか検討を。 ③ 広域スポーツセンターのあり方について、平成25年度中に整備する計画である「スポーツ健康科学センター（仮称）」との連携の在り方の検討を。 ④ リーダーバンク事業の再構築について、関係団体、市町村との連携、継続した状況把握、照会機能の継続等の観点から検討を。 ⑤ 関係部署等との連駆を促進するとともに、関係団体との連携についても強化を図る。 ⑥ 岩手県生涯スポーツ推進委員会の機能強化を図り、その意見を効果的に政策に反映させていく。</p>
<p>岩手県公会 堂指定管理 事業</p>	<p>行政とNPOとの協働を推進するため、県が実施した岩手県公会堂指定管理事業に提案・応募し、指定管理者制度によりその管理運営を実施した。</p> <p>事業期間：平成22年11月1日～平成26年3月31日</p> <p>平成22年度は、例年になく積雪量及び東北地方太平洋沖地震の発生によりキャンセルが相次ぎ、会議室は国勢調査に関する会議等が多かったため利用率は目標数値を超えたものの、大ホールは下回った。</p> <p>大ホール 10.0%（目標値21.4%） 会議室 82.0%（目標値77.1%）</p> <p>※利用状況の詳細は別紙のとおり</p>

<p>エコショップ いわて認定事務業務 委託</p>	<p>ごみの減量化・リサイクルの促進に積極的に取り組む小売店等の認定に関し必要な事項を定めることにより、その利用と取組みの拡大を通じて廃棄物の発生抑制及び循環的な利用を促進し、もって循環型地域社会の形成に寄与することを目的に県から受託した「エコショップいわて認定事務」を実施した。</p> <p>契約期間：平成22年6月29日～平成23年3月31日</p>
	<p>(1)事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認定制度の普及啓発、認定店舗の利用促進等 店舗への訪問のほか、ポスターや月刊情報誌掲載などを活用した広報活動の実施。</li> <li>○ 認定申請の審査及び認定等 新規認定申請 120店舗 認定更新申請 53店舗 認定審査 124店舗（うちレストラン4店舗）</li> <li>○ 判定委員会の設置 8月9日、10月20日、2月21日に3回開催した。</li> <li>○ 認定証交付 11月14日 アイーナ 対象：24店舗 3月8日 県庁 対象：100店舗</li> <li>○ 意見交換会及び表彰式 ECOディスカッション 9月13日 盛岡地区 参加者数：12名 9月14日 久慈地区 参加者数：23名 9月15日 釜石地区 参加者数：33名 9月16日 奥州地区 参加者数：38名</li> </ul> <p>平成22年度エコショップいわて優良認定店表彰式 11月14日 アイーナ 被表彰団体：9団体 参加者数：38名</p>
<p>地域コミュニティ総研 事業</p>	<p>盛岡地方振興局が主催する地域コミュニティ総研事業に両川事務局長が参加した。</p>

### 3 その他協働事業

	実施内容
いわてNPO基金事務局サポート業務	<p>県内における市民活動が、より広く、より活発に展開され県民一人一人が参画する地域づくりが行われるための「公益信託いわてNPO基金」のサポート組織について、基金受託者より打診があり業務受託。            契約期間：平成22年6月2日～平成23年3月31日            第10回いわてNPO基金募集及び第9回事業報告会に係る事務を次のとおり行った。</p> <p>9月21日 募集説明会（二戸地区 参加者数2名）            9月22日 募集説明会（奥州地区 参加者数2名）            9月25日 募集説明会（盛岡地区 参加者数26名）            平成21年度事業報告会            報告団体 8団体 参加者数 47名            9月27日 募集説明会（釜石地区 参加者数3名）            2月19日 第10回公開審査会（アイーナ）            発表団体14団体 参加者数60名</p> <p>※応募及び採択団体からの相談 59件</p>

### 4 その他

	実施内容
総会	<p>第9回通常総会を開催し、次の議案が承認された。（7月10日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第1号 平成21年度事業報告について</li> <li>・ 議案第2号 平成21年度収支決算報告について</li> <li>・ 議案第3号 平成22年度事業計画案について</li> <li>・ 議案第4号 平成22年度予算案について</li> </ul>
理事会	<p>原則毎月第三水曜日（フリートーク開催日）に合わせ、理事らによる打合せを行うとともに、以下の日程で臨時理事会を開催した。</p> <p>開催日 6月5日、12月18日、2月14日、4月8日、5月6日</p>
交流会	<p>総会及び理事会等終了後に、役員、会員、関係者の情報交換や親睦を深める為に交流会を開催した。</p>
企画会議	<p>事業実施の必要に応じ、メールで意見交換を行うとともに、企画会議を開催した。</p>
その他	NPO活動交流センター運営委員会

# 平成22年度 財産目録

平成23年5月31日現在

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

科目・摘要		金額 (単位:円)	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	一般	2,784	
現金	公会堂	50,000	
現金	エコショップ事業	1,200	
普通預金	岩手銀行県庁支店1092907	739,205	
普通預金	岩手銀行県庁支店2015190	301,470	
普通預金	岩手銀行県庁支店2015092	1,138,758	
普通預金	岩手銀行県庁支店2015600	1,262,706	
普通預金	岩手銀行県庁支店2015083	442,484	
普通預金	岩手銀行県庁支店2016198	832,297	
普通預金	岩手銀行大通支店2124204	536,983	
普通預金	岩手銀行大通支店2121070	25,422	
普通預金	岩手銀行大通支店2127190	300,000	
普通預金	郵便貯金県庁支店	40,200	
普通預金	北日本銀行	0	
未収金	22年度会費 他	21,070	
未収金	公会堂利用料	379,390	
~~~~~			
流動資産合計		6,073,969	
2. 固定資産			
無し		0	
資産合計		0	6,073,969
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	公会堂利用料	400,335	
未払金	5月分人件費ほか	2,793,696	
預り金	所得税	30,327	
~~~~~			
流動負債合計		3,224,358	
2. 固定負債			
無し		0	
負債合計		0	3,224,358
正味財産		0	2,849,611

# 平成22年度 貸借対照表

平成23年5月31日現在

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

科 目	金 額 (円)		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	53,984		
普通預金	5,619,525		
未収金	400,460		
(流動資産計)		6,073,969	
2. 固定資産			
無し	0		
(固定資産計)		0	
資産合計			6,073,969
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	400,335		
未払金	2,793,696		
預り金	30,327		
(流動負債計)		3,224,358	
2. 固定負債			
(固定負債計)		0	
負債合計			3,224,358
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,159,095	
当期正味財産増加(減少)額		1,690,516	
正味財産合計			2,849,611
負債及び正味財産合計			6,073,969

## 平成22年度 収支計算書

平成22年6月1日から平成23年5月31日まで

特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21

科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
(資金収支の部)				
I 収入の部				
1 会費収入 計	80,000	67,000	-13,000	
・個人正会員会費	72,000	63,000		
・団体正会員会費		0		
・準会員会費	8,000	4,000		
・賛助会員会費		0		
2 事業収入 計	13,412,697	35,332,985	21,920,288	NPOフリートーク NPOステップアップ9,772,650、県民協働型評価523,950、エコショップ2,950,000、公会堂指定管理10,634,986
・情報ネットワーク事業	360,000	250,500		
・行政と協働する事業	12,527,697	23,881,586		
・利用者分	0	10,600,630		公会堂指定管理(利用料金ほか)
・自主事業利用	0	75,269		公会堂指定管理
・企業と協働する事業	525,000	525,000		いわてNPO基金事務局サポート事業
3 補助金等収入 計	0	0	0	
4 寄付金収入 計	0	344,072	344,072	
5 雑収入 計	0	180,645	180,645	預金利息等
6 繰入金 計	1,208	1,200,000	1,198,792	
当期収入合計(A)	13,493,905	37,124,702	23,630,797	
前期繰越額	681,785	1,159,095	477,310	
収入合計(B)	14,175,690	38,283,797	24,108,107	
II 支出の部				
1 事業費 計	13,427,697	34,264,205	20,836,508	NPOフリートーク NPOステップアップ、県民協働型評価、エコショップ、公会堂指定管理 いわてNPO基金事務局サポート事業
・情報ネットワーク事業	375,000	195,068		
・行政と協働する事業	12,527,697	33,569,516		
・企業と協働する事業	525,000	499,621		
2 管理費 計	415,027	1,169,981	754,954	事務局給料等 日本NPOセンター会費、中間支援NPO 協会 総会、公会堂研究会ほか 切手、宅配 印章、事務用品 図書 会議等会場仕様 住民税ほか 契約印紙代 NPOフォーラム、雪あかり、盛岡フェス 登記、振込手数料
・役員報酬	0	0		
・給料手当	0	535,808		
・諸会費	10,000	15,000		
・会議費	23,272	8,806		
・旅費交通費	3,360	1,480		
・通信運搬費	46,397	6,281		
・消耗品費	4,298	196,245		
・印刷製本費	0	0		
・光熱水料費	0	0		
・新聞図書費	1,200	1,080		
・賃借料	0	11,596		
・保険料	0	0		
・租税公課	93,500	158,900		
・雑費	0	183,595		
・手数料	233,000	4,190		
・仮払い	0	0		
・修繕費	0	0		
・未収金会費償却	0	47,000		
3 予備費 計	100,000	0	-100,000	
当期支出合計(C)	13,942,724	35,434,186	21,491,462	
当期収支差額(A)-(C)	-448,819	1,690,516	2,139,335	
次期繰越(B)-(C)	232,966	2,849,611	2,616,645	
(正味財産増減の部)				
III 正味財産増加の部				
1 資産増加額 計		1,690,516		
・当期収支差額(再掲)		1,690,516		
2 負債減少額 計		0		
増加額合計		1,690,516		
IV 正味財産減少の部				
1 資産減少額 計		0		
・当期収支差額(再掲)		0		
2 負債増加額 計		0		
減少額合計		0		
当期正味財産増加(減少)額		1,690,516		
前期繰越正味財産額		1,159,095		
当期正味財産合計		2,849,611		